



Newsletter

No. 44

2011年8月25日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

レイバーネット秋の活動へ

## 社会の根本問われる 3.11 以後

1945年8月15日にも匹敵する2011年3月11日以降、私たちの社会のあり方が根本から問われている。この間のレイバーネットの活動も原発問題抜きにはありえなかった。労働運動の中からは東京東部労組が8月4日に「脱原発運動に関する主張」を発表、率直な自己批判からこれまでの労組のあり方を問う動きも起きている。いっぽう大連立・橋下府政など支配者側の危険な動きもめだつ。チェルノブイリに匹敵する放射能汚染国になってしまった日本で、働くものの未来をどうつくっていくのか、どう生きていくのか。こうした現実に向き合いながら、2011年秋のレイバーネットは、ネットTV・レイバーフェスタ(12/4東京)などに取り組んでいきたい。レイバーネットの会員数も約500名になった。一人ひとりが得意分野で動くこと、つながること、そこから様々な可能



8月6日、素人の乱が主催した反原発デモ

性が広がっていくはずだ。

### 定着から飛躍へ～レイバーネットTV これまでこれから

手さぐり状態ではじめたレイバーネットTVは、東日本大震災と原発大惨事を機に月二回の放送を定着させ、番組内容も充実させてきた。8月5日にTVプロジェクトの総括会議を行い、今後の方向をディスカッションした。一年以上続けて放送した経験から、TVチームの中では、焦点を絞った特集の方が内容を掘り下げることができるという意見が多かった。

原発問題以来、報道の仕方が問われている今、独立系メディアと呼ばれるインターネットTVが注目を集め始めている。その中で、私たちレイバーネットTVは一般ニュースではなく、労働の観点から報道することを特徴としている。これは一方で、業界紙のように報道範囲や対象が限られてしまうということだが、見方を変えればこれが私たちの強みにもなる。

「働くこと」は、すべての人の生活の一部となっている。たとえば、原発の問題を労働の観点から報道したように、今後さまざまな問題を取り上げる際にもこれを重視していきたいと思っている。同時に、働くものの権利や職場での問題などについて関心がなかった視聴者にも、情報提供すること、そして視聴者とともに考えていく場となることを目指したい。

それを実現するには、ツイッターなどを利用したインターネットメディアとしての双方向性をフルに活用すること、そしてネット環境が整っていない人も仲間と一緒に楽しめるよう「レイバー

ネットTVを観る会」に集まってもらうこと、また公開放送を基本としてスタジオにも足を運んでもらうことをお勧めすることだと思っている。

秋からは毎月二回放送を定例とし、時事ニュースにあわせて特別番組を組んだり、スタジオからだけでなく、現場からの報道などと活動範囲を広げていく予定だ。(松元ちえ・TVプロジェクト責任者)

#### レイバーネットTV放送予定

●第17回 9/1(木)午後8時 ゲスト=安田浩一。  
テーマ=「保守化する日本の若者たち」。被災地の外国人労働者、在特会の取材を通して見えてきた「日本の底辺」をレポートしてもらい、若者を交えて大ディスカッションをする。労働運動・社会運動と若者との接点を探る。

●第18回 9/15(木)午後8時 ゲスト=河添誠・鈴木重光(予定)。三菱ふそう事件はじめ、非正規・派遣問題のいまを考える。

\*視聴サイト <http://www.labornet.jp/org/tv>

★ 毎月第1、第3木曜、10/6・10/20・11/3・11/17・12/1・12/15と続きます。TPP問題、原発下請け労働者問題その他ホットな話題を取り上げます。企画持ち込み歓迎です。

# 止まらない橋下府知事の暴走 レイバーネット TV 大阪から初放送

東日本の福島第一原発事故は途方もない被害を出し続けているが、それに劣らぬ激動が西日本の大阪を襲いつつある。2008年に当選した橋下府知事は、大阪維新の会を作り今年4月の統一地方選で府議会の過半数を獲得。6月には、教職員に対する「君が代」強制と学校での常時「日の丸」掲揚条例を強行成立させた。そして9月に始まる府議会には、教職員を対象にした「教育基本条例案」と一般職員を対象にした「職員基本条例案」を提出しようとしている。

二つの条例案は、職務命令に三回違反した場合には懲戒免職にする、組織の合理化などで余剰人員が出れば分限免職にするなどの規定がある。公務員のナマクビを飛ばす条例案と言っている。橋下のネライは、「日の丸」「君が代」の強制にとどまらず、解雇を脅しに学校と行政の現場を自らが完全にコントロールし、リストラを断行して大阪都構想を実現すること。「教育条例案」には、知事が決めた教育目標を実現しない教育委員は罷免するという条項まである。橋下独裁が始まろうとしている。

レイバーネット TV は2月の教育特番に続き、今



君が代強制に反対する人たち（東京・7月）

回は大阪現地から教育特番2を放送する。橋下府知事のバックグラウンド、そのネライ、手法についてジャーナリストの山口正紀さんが解説。大阪の教員辻谷博子さん、福山昌也さん、東京の元教員根津公子さんらが本音のトークを展開する。ジョニーHのアンチ橋下ソング、乱鬼龍の橋下批判川柳（公募中！別記参照）も。（佐々木有美）

※放送日時 2011年9月23日 20時～21時半

## ▼ あぶない橋下！川柳大募集 ▼ レイバーネット TV 企画

橋下府政の「日の丸」「君が代」強制条例をはじめとする一連の政策は、もはや許してはならないところまで来ています。9月24日に開催される《「君が代」強制大阪府条例はいらん、全国集会》に連帯、賛同する意味もこめて、前日の23日に大阪のスタジオから「レイバーネット TV・教育特番2「君が代」で立たないとクビ！橋下はん、あんまりだっせ」を放送することになりました。

そこで、橋下府政徹底批判の川柳をひろく募集し、優秀句を番組内で発表します。皆さんの気持ちを、五七五という短い句の中にたくさん盛り込んでください。ふるってご応募ください！

### <募集要項>

- ・締め切り 9月20日（火）必着
- ・発表 レイバーネット TV（9月23日（金）20時～21時30分）

\* 9.24大阪集会案内と署名用紙をニュースに同封します。ご協力お願いします。

・ハガキ、FAX、メールで1人1枚（または1通）7句まで（1句でもOK）

・住所、氏名（あれば柳名も）、電話番号、メールアドレス（あれば）を明記。

・あて先

173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

レイバーネット日本

・FAX 03-3530-8578

・メール [mgg01231@nifty.ne.jp](mailto:mgg01231@nifty.ne.jp)

・ウェブからの投稿

<http://1000ryu.masaki-design.biz/>

※入選句10名には記念品贈呈

※選者 乱鬼龍

<例句（参考作品）>

橋下に危険注意と書いてある

橋下のくしゃみファッショと聞こえる

橋下を討てと浪花のど根性

日の丸をまた血の丸に染める気か

<3ページから続く>

### ★ DVD「コカコーラ・ケース—多国籍企業の犯罪」（カナダ・86分）

レイバー映画祭で好評だった「コカコーラ・ケース」はレイバーネット国際部が日本語字幕を付けた。ぜひ多くの人にみてほしい。詳細は事務局にお問い合わせください。

### ★ DVD「I'VAW・明日へのあゆみ」（マブイ・シネコープ 35分）

会員のマブイ・シネコープ木村修さんの「反戦イラク帰還兵の会シリーズ第6作」が完成した。アメリカ・ウィスコンシン州マディソンの労働運動と連帯する帰還兵の思いがアクチュアルに伝わってくる。上映会を呼びかけている。3000円（団体1万円）。TEL & FAX 06-6786-6485

## ●レイバーネット例会案内

## 文化運動の可能性

木下昌明「映画は自転車にのって」を手がかりに

文化に力を入れてきたレイバーネットですが、この問題をじっくり討論できる場として以下の例会を企画しました。内容は木下昌明さんの映画批評集「映画は自転車にのって」を手がかりに、社会(労働)運動と文化運動を考えてみようというものです。場所はできたてホヤホヤの「スペースたんぼぼ」。本を読んでもなくても大丈夫。ぜひお気軽にご参加ください。

・とき 9月28日(水) 午後7時～9時

・ところ スペースたんぼぼ

(東京・水道橋7分 TEL03-3238-9035)

千代田区三崎町2-6-2 ダイナミックビル4F

メイン報告 東 洋志

(東京自治問題研究所研究員・編集者)

映像報告「労働と時間」 木下昌明

ディスカッション



## 東 洋志氏の書評から

いま、木下が重視しているのは三分ビデオづくりの運動である。誰でも創り手になりうる三分ビデオの製作をとおして、「マスコミから見えなくされているいまの『現場』を映像によって掘り起こし」、批評しあう運動。

さらに立ち入った創り手と受け手との対話運動。それが広範な勤労者の主体形成、自己変革の可能性を孕むことを、木下は強調している。木下はそれを「映像による『労働者通信』運動」と呼ぶ。私は木下の文化運動論に、今日の日本でいまだ「忘れられた思想家」であり続けている花田清輝の芸術運動論の、現代的継承・再生を見る思いがする。

木下は次のように語る。「それぞれの社会の片隅に起きている『現場』を映像化し、公にすることでそれが議論を呼び、たとえ一個人の問題にすぎなかったものでも社会化されて普遍的なものになっていく」。この指摘は、現代における労働運動と文化運動との共同を考える上で示唆に富む。(東洋志・「月刊東京」)

## レイバー映画祭 2011

レイバー映画祭 2011 は7月23日、東京・田町交通ビル6Fホールで開催され、約200人が参加した。北海道・大阪からの参加もあった。アンケートでは「初めての参加だったが有意義だった」「満足感でいっぱい。映画祭をこえた“見る・言う・聞く”のお祭りだった」など60をこえる声が寄せられている。とくに、放射能の危険性を訴えた「世界は恐怖する？死の灰の正体」の反響は大きく、亀井文夫監督の仕事は、半世紀の時空をこえて、観客に強く迫ってきた。解説した木下昌明さんは「この映画で出てくるのはネズミやウサギ。でも放射能は生物を区別はしない。人間への影響もまったく同じだ」と強調した。撮影の菊地周(故人)の妻・文代

## 「満足感」でいっぱい！

さんも登壇し、亀井・菊地らの映画スタッフが、乏しい予算と機材の中でこの映画に賭けた思いを語ると、会場から大きな拍手が起きた。またレイバーネット報道部の湯本雅典さんがつくった新作「子どもたちを放射能から守れ！—福島の間い」も好評で、持参したDVDは完売した。



## ★ DVD「子どもたちを放射能から守れ—福島の間い」を活用してください。

私の新作映画「子どもたちを放射能から守れ—福島の間い」(37分)のDVDのご紹介をします。

福島の子供たちは、今でも外で満足に遊ぶことができず、屋外プールもできず、除染活動を独自に進める市町村が増えつつも、そこで出た放射性廃棄物の処理方法はほとんど何も決まっていません。毎時3.8マイクロシーベルト基準は今も生き続け、この高い数値を基準に子どもたちの生活が安全か否かが、今だにはかかれていません。この事態を根本

的に変えるには、福島県外からの全国的な支援活動以外をもっと強めること以外にはないと思います。

この事態の危機を真っ先に察知したのは現地の親、そして教職員組合でした。この映画は3月以降の福島の親、教師の間いを時間の流れを追いながらまとめたもので、7月23日レイバー映画祭で首都圏では初めて上映されました。私はこの映画の普及を通じ、いまだに危険な状況下に子どもたちが放置され続けている現実を全国に知らせたいと思っています。このDVDビデオ販売活動は、その収益の半分を子どもたちの避難、学校や地域の除染、対行政交渉などをすすめている「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」にカンパとしてお送りする支援運動としても位置付けております。

・頒価：1本2000円(税込、上映権付) + 送料200円

申込みは、yumo@estate.ocn.ne.jp(湯本)まで。



## 新入会員紹介

### ●海外との交流活動に関与したい わだともこ

7月23日のレイバー映画祭をきっかけに、海外との交流活動（「連帯」と表現するのが正しいのでしょうか？）に関与したいと思って参加しました。反・植民地主義（の残滓）という分野、安保、イラク戦争検証、先住民の人権保障といったことがらで特になにかしたい、と思っています。これまでは、教育・子どもの問題とその延長でキューバ、が主たる関心分野でした。去年初めて沖縄に行って、高江で起こっていることに衝撃を受けてからは、安保。「TAKAEってなんだろう？」と思った人が検索をして高江を知る、といったことに結びつけばと思って、毎日高江Tシャツを着ています。安保にしても原発にしても、現在の状況に対して自分にも責任がある、ということをきちんと自覚して、少しでも埋め合わせをしていきたいと思っています。よろしくお願いします。（編集部注：わださんには国際部に加わっていただきました）

### ●川柳デモがきっかけです 佐々木正明

このたびレイバーネットに参加した佐々木正明です。シグロに勤めています。松原明さんとはだいぶ以前よりのお付き合いさせてもらっています。多分、「映画運動・試写室」頃からになるでしょうか、かれこれ30年以上になります。レイバーネット参加のきっかけは、6月11日の川柳デモでした。3月11日の原発事故時、私にも孫がいて、「この子らに申し訳ないことをした。出来ることなら時間を元に戻したい！」と、原発に目をつむってきた自分が情けなく、これからは出来る事は何でもしようと考えたものです。そのひとつデモにでることでした。またひとつは、表現手段を持とうということで、現在「シネマテーク動画教室」で編集の勉強を始めました。ところで「編集」ということは、5・7・5の17文字の言葉で社会を批評する川柳とも結びつくので、この機会にこれも勉強してみたく思い参加しました。

### ●偽装請負で働いています 君之夢何

今、俺は偽装請負のところで働いてる。保険は雇用保険のみ。1年2カ月ぐらい。倉庫で、開くシャッターに近いところで、夏はすごく暑く、冬は寒い。夜は、作って食べてたが、今は、疲れているので、弁当ばかり。ああ、なんとかしたい。最近、俺が感じたこと。何かしら、安定した地位や職業にいと、そうでない人たちを無自覚に傷つけても鈍感で、それを知っても認めたくない。勇気を持って指摘すると怒りだし、ある人は、相手の意識していない欠点を指摘する。その指摘があつていけばいい。俺は苦く



勝利和解した三菱ふそうの非正規労働者と支援者（7月28日）

ても受け入れて前進する。だが、善行をしている、素晴らしいと自惚れ、他人を傷つける言動・シグナルを発しているのに無自覚で認めたがらない人たちには、何の言葉をかければいいのか？ 弱い立場だと言葉が出ない。出せば怒って、認めないで、俺のことを説教するんだ。そんな上司と一緒に仕事は辛い。俺も知らず知らずやっているんだろう。でも、気づけば、謝り直す。（名前はペンネーム）

### ●行政へのささやかな抵抗 星将隆

「三多摩野宿者人権ネットワーク」の星将隆です。反戦界限ではお馴染みの顔だと思いますが。ただいま、さんきゅうハウスといったレストハウスを運営中です。誰でも利用が出来る入浴サービスや洗濯、一時凌ぎの寛いの場。ここ、さんきゅうハウスは今まで行政が「排除」や「追い出し」といった小手先の対策で、路上生活者や貧困層（派遣労働者、生活保護者）を目に見えなくさせてきたことに対するささやかな抵抗の一步であると思います。貧困を余儀なくされる仲間と共同の議論とスペースを要求されていること。私たちに試されています。

### ●明石書店争議の経験を活かしたい 山縣浩己

明石書店労働組合で委員長（支部長）を、2008年の組合結成から務めました。08年末に契約社員の組合員が雇止めになり争議に突入、09年4月末には私が、10年4月末には副支部長が雇止めになり、3人は裁判闘争を始め、4つの裁判で勝利しました。中でも、「次回の更新はない」という不更新条項を入れた契約書にやむなくサインして翌年雇止めされた副支部長の、「会社が不更新条項を付したこと自体が解雇権の濫用である」という東京地裁の決定は、有期契約で働き闘う労働者にとって大きな力となる勝利だと思います。10年末に和解し、私は退社しました。組合は今年7月末に社内組合員が全員退社し解散しました（<http://alu08.exblog.jp/>）。多くの支援をいただいて和解解決まで闘い抜くことができました。この場を借りてお礼申し上げます。3年間の活動経験を生かして、運動の支援など、できることをやっていきたいと思っています。

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 491名

ウェブアクセス 1日 2000

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本  
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

レイバーネット日本事務局

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org  
電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578